

歴史的事象を自分との  
つながりから考えられる児童の育成  
—単元の学習問題を二つ設定することを通して—

研究構想図

長期研修員

細谷 直樹

歴史的事象を自分とのつながりから考えられる児童

歴史を学ぶ  
意味を考え  
られたね。



昔の出来事って  
今の私とつな  
がっているね。



まとめる

追究する

つかむ

学習問題①(単元の学習内容の追究を目指すもの)  
「○○○について調べよう」  
学習問題②(自分とのつながり进行を思考するもの)  
「○○○について考えよう」

つながりから考える

「学習してきた歴史は私たちの生活に  
いろいろと影響しているんだね」

学習問題①  
の解決

学習問題②  
の考えを交流

考えをもつ

「今日学習した○○は、今の私たちの  
○○と関係しているね」

学習問題①の追究  
各時間での  
めあての解決

学習問題②  
で思考

見通しをもつ

「○○について調べ、  
○○について考えればいんだな」

学習問題①  
の設定

学習問題②  
の設定

単元を通して学習問題②の視点で思考

<教師の願い>

事実だけではなく、  
歴史を学ぶ意味も感  
じてほしい。

<児童の思い>

覚えることがたくさん  
あって大変だ。歴史っ  
て何で勉強するの？



学習問題①の設定

学習問題②の設定

単元の見通しをもつ

つかむ

資料

学習問題①

「日本が国力を充実させ、国際的地位を高めた背景には、どんな出来事があったのか調べよう」

発問

学習問題②

「当時の出来事は今の日本にどんな影響を与えているのかを考えよう」

この時代には、どんな出来事があったのかな。今の日本に何か影響を与えていることってあるのかな？



学習問題①の追究

学習問題②で思考

学習内容とつなげて考えをもつ

追究する

〈例：第2時〉

本時のめあて

なぜ、日本は不平等条約を改正することができたのだろう。

本時のまとめ

日本の近代化や陸奥宗光らの活躍のおかげで、条約改正に成功することができた。

不平等条約を改正するために日本が行ってきたことの中で、今の日本に影響を与えていることはないか考える。

領事裁判権をなくせたことで、外国人も日本人と同じように裁判できるようになったんだ。だから、今の日本はたくさんの外国人を迎え入れられるんだね。



学習問題①の解決

学習問題②の考えを交流

学習内容を自分とのつながりから考える

まとめる

学習のまとめ

不平等条約を改正したり、戦争に勝利したりしたことで、日本の国力は充実し、国際的地位も高まった。

考えを交流する活動

明治・大正時代に起きた出来事と今の日本に与えている影響を結び付けた関係図を班で作成し、クラス全体で交流する。

明治・大正時代に起きた様々な出来事は、今の私たちの生活を豊かなものにしてきているんだね。



○成果 ●課題

- 学習問題②を設定し、単元全体を通して思考させたことで、歴史的な事象を自分とのつながりから考える力を身に付けさせることができた。
- 学習問題②は、様々な視点から考えさせることができるので、単元の学習内容にふさわしく、自分とのつながりをより考えられる問題を設定していく必要がある。

提言

児童が歴史を学ぶ意味を考えながら学習に取り組めるように、歴史的な事象を自分とのつながりから考えられる工夫を取り入れた授業にしていきたいと思います。